



平成28年 9月 / 日付  
 午前・午後 3時3 / 分受領  
 平成28年 9月 1日

南山城村 議会議長 廣尾正男 様

南山城村 議会議員 鈴木かほる

### 一般質問通告書

次の通り通告します

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1.老後の安心のための介護施策について	「住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる村づくり」という村の高齢者福祉の考えを実現するために、以下の質問をする。 ① 高齢者福祉施設について、村の計画の進捗状況を問う。 ② 要支援1,2の介護保険はずしに伴う村の施策を問う。 ③ 今後もサービスの継続ができるよう、村民の声が反映されるか。 ④ 介護の担い手(ヘルパー)育成。資格取得のための支援の具体化。	村長
2.若者の定住・子育て支援について	若者の定住・子育てを支援するために、以下の提案をし、村長の方針を問う。 ① 村に生まれ育った若者の横の繋がり場、出会いのお世話さん婚活制度を提案したいが、どう考えるか。 ② 若者住宅や空き家バンクの活用はどのように具体化されているか。 ③ 保育料の無料化を予算に組み込む計画はあるか。	村長
3.乱開発から村の自然を守ることについて	投機目的の土地付き分譲太陽光発電所は、法の網の目をくぐって作られ、また次の開発を進めようとしている。村はこのような開発から村民の生活と自然をどう守るのか、質問する。 ① 山林が壊され、農地の減少で、洪水や土砂災害の危険がある開発をどう考えるか。 ② 村として村民が安心できる対策を立て、条例を作るべきではないか。	村長
4.村内交通網の再編成について	村民の足として新しいバスも含め、大幅な見直しは検討しているか。 以下の点について提案したい。 ① 村内医院への通院に合わせたコミバスの運行。 ② 山城病院など、列車に合わせた昼間のバスの増便計画。 ③ 福祉センターの利用に合わせた運行計画。 ④ 希望する保育園児の送迎に、小学校通学バスが利用できる計画。	村長
5.定住自立圏構想の協定について	伊賀市と結ぼうとしている「定住自立圏協定」には村民の理解と合意が不可決ではないか。 ① おおまかな枠組みだけで、具体的な内容が村民に知らされていない。地域に出向き丁寧な説明と合意形成が必要と思うが、どうか。 ② 村の将来に関わる協定書、今議会での議決はまだ早いのではないか。	村長

(注)1質問の要旨は、具体的に記載してください。(議員必携150ページ参照)  
 2質問の相手は、村長、行政委員の長または監査委員とします。